

Rotary



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために
SERVE TO
CHANGE LIVES

WEEKLY

第1495回任意例会

2021年（令和3年）8月19日

清水中央ロータリークラブ

<http://www.portwave.gr.jp/shimizu-chuo/>

会長 渡邊 芳一

副会長 野々村 勲夫

幹事 黒田 侑加

例会日 木曜日 12:30~13:30

例会場 清水ナショナルトレーニングセンター

事務所 静岡市清水区真砂町3-20

054-371-9000

054-340-2550

◆会長あいさつ

会長 渡邊 芳一 君

静岡市のコロナウイルスに関する判断指標でついにレベル4となってしまいました。

清水中央ロータリークラブの規定により例会は休会となります。しかしながら、まったくの休会ですと会員の皆さんのつながりや情報交換も少なくなり、ロータリーに対する想いも縮小してきてしまうと考えると少々強引ですがウェブデジタル委員会の伊豆川さんと西貝さんにご尽力いただき、今回の任意参加例会を開催することが出来ました。

しかしながら内容やシステムも無理しないで、少しずつ改善していければよいかなと思います。

本年度後半には、リアルとリモートを利用した、ハイブリット例会も予定されています。少し早く準備に取りかかれたと考えれば、今回の状況も良かったと思えます。

◆幹事報告

◇理事会報告

- 9月2日以降の例会開催について
任意例会として、ハイブリット形式で行う【承認】
- 岡フェスでの活動提案検討
 - ①シャンティ 絵本を届ける運動
 - ②エンドポリオ
 - ③5RCとの関わり（地元企業の紹介等）
 - ④アーシャの現状報告
 - ⑤シングルペアレント101への支援
- 9月9日ガバナー公式訪問の件
ハイブリット例会で開催【承認】
- 次期・次々期ガバナー補佐選任の件
希望者は会長・幹事に申し出てもらう【承認】
- 会報について 数回分をまとめて文章化する。
HPにアップ【承認】

◆卓話

組版ルールについて

西貝 誠一 君

文章中心の印刷物を製作する時の約束事として、活版印刷の時代から培われてきた「組版ルール」と呼ばれるものがあります。

組版ルールは出版社や印刷所によって様々な規定がありますが、基本的なルールについて記します。

基本になるのが3つの「禁則」です。

1. 行頭禁則文字
2. 行末禁則文字
3. 分離禁則文字列

通常組版を行うと、この禁則に触れる場合が多くあります。そこで行われる処理（禁則処理）に「追い出し」、「追い込み」、「ぶら下がり」があります。

禁則処理を行って、禁則に触れないように文字組版を行うのですが、どれが正解という事は無く、出版社や印刷所のルール、もっと言うてしまうと作業員や著者の好みで選択する事になります。

因に作家の京極夏彦さんはこの禁則処理をするのが嫌なので、禁則にならないように文章を考えているそうです。

これ以外にも数字の扱いとか、仮名文字の間隔を詰める方法とかもありますが、なかなか複雑で説明が難しいものもあります。

現在は組版作業は殆どがコンピュータ上で行われているので、印刷所や出版社では禁則処理を細かく設定出来たり、数字の字形を変更する事が出来る組版ソフトを使用しています。

組版ルールは職人の技術によって守られて来ましたが、現在は残念ながら継承されずに廃れて来ています。

こうしたルールは時代に添って変化をしているものだと思いますが、読みやすい文章を組むために考えられたルールが、知識不足やソフトの能力の問題で廃れてしまうのは残念だと考えています。